

越前市食と農の創造ビジョン ～持続可能な食・農・環境・地域を目指して～（概要版）【全体・基本構想】

1 食と農の創造ビジョンとは？

現在、農業を取り巻く状況は、高齢化や後継者不足による農業者の減少、農産物価格の低迷、農地の荒廃等、極めて厳しい状況にあります。また、食に関するさまざまな問題が発生するなか、食の安全・安心に対する市民の関心が高まっています。

このような背景から、食と農のつながりを見直し、農業・農村の活性化と自然環境との調和を図るため、「越前市食と農の創造条例」に基づき、「私たちが目指す食と農のすがた」とその実現のための基本的な方向性や施策を取りまとめたものです。

【構成と計画期間】

「基本構想」と「基本計画」によって構成します。

- ①基本構想・・・10年間
令和2年度から令和11年度まで
- ②基本計画・・・5年間
令和7年度から令和11年度まで

【改定について】

食と農の創造ビジョンと平成24年度に策定した「越前市コウノトリが舞う里づくり戦略」は、それぞれの目的や目指す方向性において、互いに共通部分が多くあることから、今回の改定においてコウノトリが舞う里づくり戦略を食と農の創造ビジョンに統合しました。

今回改定した食と農の創造ビジョンを食を支える農業・農村や里地里山の豊かな自然環境を次世代に引継いでいけるよう、市民全体で連携協働しながら取り組むべき指針と位置づけ、本市の農業・農村の活性化と自然環境との調和をより一層推進していくものとします。

また、食と農の創造を推進するために、持続可能な開発目標（SDGs）を取り入れながら取り組みを行い、持続可能な食・農・環境・地域を目指します。

【食と農の創造とは】

食と農の現状を見つめ直し、その大切さを理解するとともに、食とそれを支える農との関係を構築することをいいます。

2 食と農、地域を取り巻く状況

【私たちの食】 食

①食料自給率が横ばい傾向で推移

我が国の食料自給率は38%で近年横ばい傾向で推移しています。また、福井県における食料自給率は66%で米を除くと10%という状況です。（平成29年度概算値カロリーベース）

②食の安全・安心をめぐる問題

廃棄食品の横流しや偽装表示、遺伝子組換え食品や生命の設計図を改変して作られる「ゲノム編集食品」など、食の安心（信頼）に関わる問題や、CSF（豚熱（ぶたねつ））による豚肉に対する風評被害が懸念されています。

③食生活の変化や飽食時代を反映する問題

共働きや単身世帯の増加傾向に伴い、外食や中食（なかしょく）が増え、私たちの食生活が変化しています。こうした傾向は、生活習慣病の早期発病や子ども・若者を中心とした食生活の乱れの一因にもなっています。

【私たちの農】 農

①農業の担い手の減少・高齢化と弱体化

担い手の減少や高齢化は、品目や生産性の落ち込みを招き、生産資材などの高騰による生産費の増加、農産物価格の低迷による収益性の低下により認定農業者をはじめとする担い手の農業経営が厳しくなっています。

②農地の荒廃

【私たちの地域】 地域

①里地里山の生物多様性の低下

耕作放棄地等の増加により、生きものの生育環境が悪化し、在来種の脅威となる外来種の進入が見られています。

②地球温暖化や異常気象による農業環境や自然環境への影響

③コウノトリをシンボルとした取り組みの広がり

令和元年には、県内で55年ぶりに野外コウノトリのひなが市内で誕生し、同じ時期に市の東部地域に初めてコウノトリが飛来しました。今後は、西部地域中心であった取り組みを市全域に拡大する必要があります。

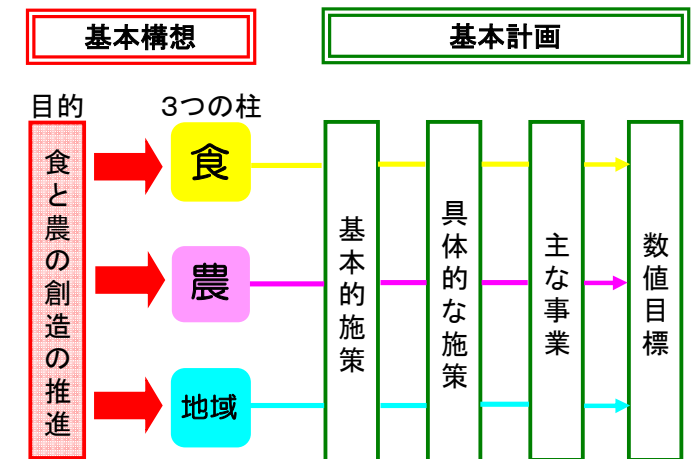
3 基本構想の概要

基本構想は、本市の農業・農村の活性化と自然環境との調和を図るために「目指す食と農のすがた」とその実現のための基本的な方向性を示すものです。

【私たちが目指す食と農のすがた（3つの柱）】

食	農	地域
からだところを育む潤いのある食の実現	たくましく自立する農業、環境に配慮したこだわりのある農業、生きがいとしての農業など、多様な農業の実現	農を基盤とした豊かな自然環境と、人と人が絆で結ばれた地域社会の実現 ～生きものと共生するコウノトリが舞う里づくり～

【体系図】



4 私たちが目指すすがたを実現するために ～SDGsの取り組み～

私たちが、豊かな自然の恵みを得て、多様な生きものと共生しながら、元気で豊かに暮らすためには、私たちの食とそれを支える農の大切さを認識し、持続可能な社会の実現に向けて長期的な視点で行動することが必要です。

「私たちが目指す食と農のすがた」に示した基本的な方向性は、持続可能な開発目標（SDGs）の17の全ての目標と密接な関連があります。なかでも特に関連の深い目標については、目指す方向性や施策にSDGsを取り入れながら、持続的な取り組みを行うことにより、本市の食・農・環境・地域がよりよいものになり、次世代の子どもたちに引き継げるような社会を目指します。

【主なSDGsの目標と本市の目指す取り組み】

食に対する関心を育み食品ロス削減に取り組めます。 2 飢餓をゼロに	家族農業をはじめ、全ての農業者が活躍できる持続可能な農業を目指します。 8 働きがいも経済成長も	エシカル消費を推進し持続可能な生産と消費のため地産地消に取り組めます。 12 つくる責任 つかう責任
全ての市民が、心身ともに健康につながる食育や地産地消を推進します。 3 すべての人に健康と福祉を	スマート農業による農作業の効率化を目指し農業経営の安定を図ります。 8 働きがいも経済成長も	減農薬及び減化学肥料による環境にやさしい農業を営み、川や海の水を守ります。 14 海の豊かさを守ろう
全ての市民が豊かな食生活を実践し、生きる力を身に付ける食育や地産地消を推進します。 4 質の高い教育をみんなに	農地の利用集積や、ほ場の大区画化等を図り、農業基盤を強化します。 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	里地里山の保全再生により多様な生きものを育む自然環境を目指します。 15 陸の豊かさも守ろう
大規模経営体から小規模農業者まで多様な農業者の育成を図ります。 4 質の高い教育をみんなに	災害から農業・自然環境を守り、農業・農村の多面的機能の発揮を目指します。 11 住み続けられるまちづくりを	食、農、環境、生きものを通して、互いに絆で支え合う地域社会を目指します。 17 パートナリシップで目標を達成しよう